

第16期第3四半期業績のご報告
(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

平成24年6月吉日
日本システムバンク株式会社
代表取締役社長 野坂 信嘉

当第3四半期における我が国経済は、東日本大震災の復興需要や円高の小康状態など、明るい兆しが見られるものの、欧州債務危機や電力供給に関する不安など、先行きが不透明な状況が続いております。

そのような状況のなか、当社は時間貸し駐車場の競合他社との差別化と高付加価値化を図りました。具体的には、電子マネー対応駐車場の開設と電気自動車・プラグインハイブリッド車用の充電スタンドの積極的な設置・販促活動を実施して参りました。

その結果、CPシステム運営事業においては、専任担当による直営駐車場の収益改善策を継続的に実施、また収益力の高い駐車場を厳選して開設を行う事により、売上高624,823千円(前期比109%)と伸長致しました。

CPシステム販売管理事業においては、コンサルティング営業の更なる推進とメンテナンス、コールセンターでの顧客対応能力の向上に努め、売上高457,517千円(前期比99%)となりました。

プロパティマネジメント事業は、全国の物件を集中管理する事により、維持管理の効率化と満室経営を努め、71,643千円(108%)と伸長致しました。

また分譲マンション事業においては、販売スキルの高い社員を増員し、顧客対応能力の向上に努め、売上高264,753千円(前期比154%)と大きく伸長致しました。

その結果、当四半期に於ける売上高は1,419,863千円(前期比111%)と伸長致しました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

事業区分	金額	前年比
CPシステム運営事業	624,823千円	109%
CPシステム販売管理事業	457,517千円	116%
プロパティマネジメント事業	71,643千円	101%
分譲マンション事業	264,753千円	39%
その他	1,128千円	9%